東京新聞

●工業著作權の保護（續）

韓國特許令は意匠令商標令著作權令に倣ひ國に於ける之等權利の保護につき原則は日本に於ける特許法意匠法商標法及著作權法によるべきを定め只施行地域及管轄官廳の關係上止を得ざる物品を規定したる迄なるを以て出願處分及權利保護の懲樣は日本内地に於けると更に異なる所なし只當業者の誤解なからんため特に注意を要するは東京特許局又は内務省に出願して特許の登錄を受くる時は其權利は當然韓國に於て効力を有するものゝ如く誤解する者ある如きも特許令其他各勅令の明則に特例を掲げ初施行前即本年八月十五日以前に日本に於て特許又は登錄を受くる權利は韓國に於て効力を有すと雖も是れ八月十五日以前に日本に於て特許又は登錄せしたる權利について一時的經過規定に過ぎず今や日本内地と離れて韓國に於て特に新に其他い權利保護の制度約定せたる上は日本に於ける權利も韓國に於ける權利とは各別個獨立のものとなり權利の及ぶべき範圍を異にし韓國に於ける權利は日本に於て其効なく日本に於ける權利又當然韓國に効力なきを以て向后韓國に發て登明意匠商標及著作物取つき專用權を獲んとするならば統監府特許局に出願して特許又は登錄を受くることを忘るべからず（完）

●八月の氣候概況

本月の氣壓は北部の方稍高かりしと雖も全國を通じて其差僅に一粍に過ぎず風向は北部にては概ね北東なりしも南部は區々の風なりき氣温は最高極約三一、八度に達したるも最低極は十二度餘を示したり降水量は元山附近最も多く其量五百粍以上に達し釜山の約三萬粍之に基き平壤附近の百二十粍を以て最少とす蒸發量は木浦より平壤に至る連線地方に多く就中其最も多かりしは仁川附近の百八十粍にして最も少なかりしは極北部にして僅に百粍餘なりき今是等を既往四ヶ年のものに比すれは氣壓は南岸に於て稍低く其他は高かり氣温は南岸及北東部を除きては稍低く降水量は過半多量にして就中北東部に著しく即ち元山の如きは約三百粍の超過なりし蒸發量は各地共多量にして殊に南西の沿岸地方にては二十粍餘の增加を呈せり尚項別して大要を叙すれば次の如し

△氣壓　平均氣壓は北部に於ける七百五十六粍五より南西部に於ける七百五十四粍の間にありて前月に比すれば南部より北部に向つて一乃至三粍高し

△氣温　平均氣温は大邱の一十六度四より城津の二十一度七の間にあり又最高極は大邱の三十七度八にして最低極は城津の十二度七にして前月に比すれば南部より北部に向つて一乃至三粍高し

△降水量　降水の配布は元山の五百六十五粍四より平壤の百二十粍一の間にありて前月に比すれば南岸及北岸に增加し就中元山の如きは二倍以上に及べし之に反して西岸の中部にては三分の一以下の減少なりき

▲蒸發量　蒸發量の最も多かりしは仁川の百八十五粍五にして最も少なかりしは城津の百二十八粍〇なり之を前月に比すれば北西部に稍少なかりし外は孰れも著しく多く其配布は北東部より南西部に漸次增加し木浦の如き五十一粍の過多を呈したり

▲風　本月の風位は北部に概ね北乃至東なりしか中部にては西南方南岸に於ては概ね南東を占めしか如く頗る複雜なりし平均速度は南西沿岸に於ける六米弱より内陸に進むに從ひ減じ月中最大風速は三十米に達せるも之に次ぐ三十米二之に次ぐ十米二にして第一と仁川の三十米二之に次ぐ十米二にして第一と暴風日數は既往四ヶ年のものに比すれは北部に多くして南部に少なかりしが前月に比すれは概ね少なく殊に龍岩浦は十四日に對する本月は僅かに二日なりき

●天氣　降水日數は各地概ね十日以上にして大邱の十六日最も多かりしが之を前月に比すれは一般に少なく大邱の如きは其差八日に及へり快晴日數は前月に比すれは南東部に殺かに多くして釜山の如き十一日の多きに及へり而して之等を既往四ヶ年のものに比すれは雨天日數は增減相半し孰れも其差四日以内より快晴日數に至ては概ね本年の方多く最も多きは其差七日なりし本月に於ける電雷日數は過半一回以上ありて大邱の五回最も多し濃霧は南岸及附近の内陸に皆無なりしも他は四日以内の發生を見たりき

▲暴風雨　本月廿日は呂宋東方の海上に顯はれたる颱風は初め北西の進路を取りて二十三日朝六時琉球の南方海上に來り夫より徐々進路を北方に變じ二十四日午前六時那覇西方遙る沖に出でたりと之か爲め二十四日午前六時より南部の氣壓は徐に降し始め極南東部は已に雨を帶ひ西域は漸次擴大したるか二十五日午前六時颶心の那覇北西方約百浬に來りし頃更に本邦極南西部の沖に狹小なる低氣壓の發生したるを以て風勢漸く加はりたれとも夜間該低氣壓の經過と共に南部の天候は一時恢復せり然るに琉球北西沖にありし颶風は二十六日午前六時東海の中部に達し夫より北々東の進路を取り本邦の南西端に向つて突進し來れり其速度は實に前日來の約四倍にして午後十時には途に木浦を距る南西約二十浬の海上に達し南部の天氣は再び險惡に陷り夜に入りては中部以南風雨猛烈を極め漸次北東部に及ぼせり之れ颶心か恰も夜半頃上陸し二十七日午前一時頃木浦の西方を掠め午前六時には忠州の北方に至りたるを以てなり然れとも午後二時に於ては中心は既に日本海に去りて城津の南東約六十浬の海上に在りたるを以て當時風南の烈しかりしは只城津のみにして其他は殆んと雨歇み風勢又衰へ所々晴天を視る午後十時には全國を通して全く平穩に歸せり韓國に最來する低氣壓にして局部に暴風雨を起すもの毎年數回に及ふと雖も今回の如き優勢なるものは本所創業稀に見る所なり

●漢城衛生會規約

第一條　漢城衛生會は漢城及附近の地域内に於て衛生狀態の改善を圖るを目的とす

第二條　漢城衛生會の事業に必要なる費用は韓國政府の補助金及漢城在住者より徵收する金額を前月に比すれば一般に高くして所に依り三度前後に及びたれども平壤龍岩浦及城津の最低氣温は低くして龍岩浦は其差三度に達せり而して較差の最大なりしは元山にして二十二度なりし

▲降水量　降水の配布は元山の五百六十五粍四より平壤の百二十粍一の間にありて前月に比すれは南岸及北岸に增加し就中元山の如きは二倍以上に及べし之に反して西岸の中部にては三分の一以下の減少なりき

▲蒸發量　蒸發量の最も多かりしは仁川の百八十五粍五にして最も少なかりしは城津の百二十八粍〇なり之を前月に比すれば北西部に稍少なかりし外は孰れも著しく多く其配布は北東部より南西部に漸次增加し木浦の如き五十一粍の過多を呈したり

▲風　本月の風位は北部に概ね北乃至東なりしか中部にては西南方南岸に於ては概ね南東を占めしか如く頗る複雜なりし平均速度は南西沿岸に於ける六米弱より内陸に進むに從ひ減じ月中最大風速は三十米に達せるも之に次ぐ三十米二之に次ぐ十米二にして第一と仁川の三十米二之に次ぐ十米二にして第一と暴風日數は既往四ヶ年のものに比すれは北部に多くして南部に少なかりしが前月に比すれは概ね少なく殊に龍岩浦は十四日に對する本月は僅かに二日なりき

●天氣　降水日數は各地概ね十日以上にして大邱の十六日最も多かりしが之を前月に比すれは一般に少なく大邱の如きは其差八日に及へり快晴日數は前月に比すれは南東部に殺かに多くして釜山の如き十一日の多きに及へり而して之等を既往四ヶ年のものに比すれは雨天日數は增減相半し孰れも其差四日以内より快晴日數に至ては概ね本年の方多く最も多きは其差七日なりし本月に於ける電雷日數は過半一回以上ありて大邱の五回最も多し濃霧は南岸及附近の内陸に皆無なりしも他は四日以内の發生を見たりき

▲暴風雨　本月廿日は呂宋東方の海上に顯はれたる颱風は初め北西の進路を取りて二十三日朝六時琉球の南方海上に來り夫より徐々進路を北方に變じ二十四日午前六時那覇西方遙る沖に出でたりと之か爲め二十四日午前六時より南部の氣壓は徐に降し始め極南東部は已に雨を帶ひ西域は漸次擴大したるか二十五日午前六時颶心の那覇北西方約百浬に來りし頃更に本邦極南西部の沖に狹小なる低氣壓の發生したるを以て風勢漸く加はりたれとも夜間該低氣壓の經過と共に南部の天候は一時恢復せり然るに琉球北西沖にありし颶風は二十六日午前六時東海の中部に達し夫より北々東の進路を取り本邦の南西端に向つて突進し來れり其速度は實に前日來の約四倍にして午後十時には途に木浦を距る南西約二十浬の海上に達し南部の天氣は再び險惡に陷り夜に入りては中部以南風雨猛烈を極め漸次北東部に及ぼせり之れ颶心か恰も夜半頃上陸し二十七日午前一時頃木浦の西方を掠め午前六時には忠州の北方に至りたるを以てなり然れとも午後二時に於ては中心は既に日本海に去りて城津の南東約六十浬の海上に在りたるを以て當時風南の烈しかりしは只城津のみにして其他は殆んと雨歇み風勢又衰へ所々晴天を視る午後十時には全國を通して全く平穩に歸せり韓國に最來する低氣壓にして局部に暴風雨を起すもの毎年數回に及ふと雖も今回の如き優勢なるものは本所創業稀に見る所なり

●漢城衛生會規約

第一條　漢城衛生會は漢城及附近の地域内に於て衛生狀態の改善を圖るを目的とす

第二條　漢城衛生會の事業に必要なる費用は韓國政府の補助金及漢城在住者より徵收する金額を前月に比すれば一般に高くして之に充つ

第三條　漢城衛生會に會長及評議員を置く

會長は内部次官を以て評議員は左に掲ぐる者を以て充つ

一、韓國駐劄軍令官部長
一、警視總監
一、京城理事廳理事官
一、漢城府尹
一、京城居留民總代
一、漢城府民總代

會長は必要と認むる時は別項以外に評議員を囑托することを得

第四條　漢城衛生會に委員若干名を置く（委員長は警視總監を以て此に充て委員は警視或は技師及漢城在住者に囑托す）

第五條　委員は事業の計畫及費用の徵收に關する事項を決定す

第六條　委員は評議員の議を執行す

新刊紹介

●京城日本人商業會議所年報　全頁二百六十大形新版の船子多り胃頭には鮮明にして優麗なる會議所の寫眞版を掲げ續いて明治二十年より同四十年に至る迄の京城經濟界の概勢實業界の各營には小項を設けて記事の詳密を期し一年間に於ける京城經濟界の趨勢實業界の嚮背を知悉せしむるの確かに有益なる座右の參考書といふべし次に最後に同商業會議所が二十年より四十年に至る迄二十一年間の活動史を掲げあるが是又本体の記事と相俟つて讀者の參考となるや勿論なり（京城蓉町京城日本人商業會議編纂）

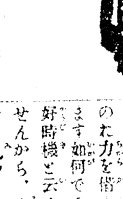
●東京經濟雜誌　本號の重要記事としては「金融の景況」「桂内閣の財政計畫綱要」「恐慌後の米國財政」等なるが何れも時代に適切なる問題なるを以て讀者の歡迎を受くるや言ふ迄もなし（千四百五十六號一部十二錢東京麹町區新衣裳社發行）

●新衣裳　高島屋版は例年華麗なり殊に米澤球及臨海九州の樣樣の如きは却々に優つたものなり（七十七號一部十三錢京都市上京區新衣裳社發行）

俳句

白露集

亡き娘の今日は三年の秋の暮　可鹿
櫻風落ちて水笑む溺れ河鹿啼く　可鹿
窓に依り聞くや小窓や小川の啼河鹿　湖水
河鹿啼くや小窓の小川の啼河鹿　湖水
萩の蹠こぼれてちりて夜明哉　三酔
萩の里法被の供す町藝者　三酔
夕霧に馬子唄遠き山路かな　三酔
霧深く馬の嘶くわしたる哉　三酔
旅僧の浮世を外に寢長かな　同
浮鳥の鳴くや夜長の草枕　松瓢
世の遠き山家さびしき夜長哉　三酔
山嶽一里風寒して砧かな　可酔
繻蜂や馬士酔て行く道のはた　湖水
山科や京路三里にきり〳〵す　東酔
夕暮の山路せはしや遠きぬた　湖水



（二十）　川合　柳葉

「中村樓でございますか、シテ御供の樣子は知れないでございませうね。」

と、山川が雀敎の顏を伺ふば、

「誰を連れて來るか、幾人來るかと云ふことは分らないが、しかしこれまでは大抵家扶だけ從いて來る例であるから、這度も大分家扶一人だらうと思つて居る。」

「なる程……シテ其家扶と云ふは老人でございますか。」

「イヤ、餘り老人でない、かうつと……確か三十六七だと思つてる。」

「如何でございます、定めて頑固な方でございませうね。」

「イヤ、家令の清川と云ふ爺はなか〳〵頑固な奴だが、家夫の大山が年が若いだけに總が當世向で、なか〳〵愉快な男だ、だから旅行などする時には何時も大山を連れる事に極めて居るやうだ。」

「然うでございますか、これは大きに都合しかし奥々も云つて置くが、思へた上にも思慮へて、必ず事の露顯せんやう注意して下れないと、萬一の事があると互の破滅だからね。」

「宜しうございます、大事は小事より露はれ易きもの、注意の上にも注意を加へて、蛇度旨く計ります。」

就きましては、先づ序幕を開けるに就きまして貴方にお願ひ申したいのは、侯爵が此方に御滯在中に、何とか旨くお話し下すつて、私の宅へお遊びにお出が願ひたいのでございますが、如何でございませう、お出が願へるでせうか。」

「病氣保養に來ると云ふのだから、其の病狀に依つては少々難かしいかも知れんと思ふ。」

「どころで今日伺ひましたのは、御手紙の趣の大抵樣ての御相談であらうと察しまして、何か此機を利用して方策を廻らす御名案でもお有りなさいますのでございますか、若し別に御考へになつた事がございませんければ、私に一つ思い付いた策略があるのでございますが、しかしこれを實行するに就きましても、是非貴方のお力を借りなければならないのでございます如何でございませう、事を謀るは這度好時機と云ふものは再びある事ではありませんから、先つ大芝居の序幕として幕を開けて見やうと存じます。」

「此事に就いては總て君に任せてあるのだから、君が此時機を逸さず實行するが宜いと思ふなら、君の思慮通りに行つて下れ、うと思ふから、幸ひ歌や俳諧は好きでもあるし、何かと巧く持ちかけて蛇度連れ出す事に爲やうが、一体奈何する積りなんだ。」

「それは些ごまだ申上げかねますが、いづれ確と腹色が出來上りましたらお申上げます。」

「しかし、君の家で思ひ切つた悲劇を演ずるのぢやあるまいね。」

廣告

診療に從事す
理事廳前角
統監府通信管理局囑託醫學得業士前漢城病院内科主任
池田季雄
池田内科小兒科醫院

▲無料紹介欄▼

瓦賃朝鮮家屋高價讓受たし（所在地間數價格乞通知）京城本町七丁目第一百十八番戸　渡邊生

夜具箱附格安の中古上等品拾枚程登賣却したし希望者は下名へ市内祖町一ノ五四小谷

求妻　月收百三十圓の四十男俸給なし血正体健品位あり相當教育ある婦女あらば結婚を望む　姓名在社

年廿一才函等女學校卒業海軍將校未亡人求良緣但し再縁子供ありても不苦　姓名在社

熊本生れ年十九才の女普通教育あり容貌十人並体格壯健血統正しき者相當の商家へ緣付たし　姓名在社

求妻　當年二十八歳月俸七十圓郷里財産有廿前後の婦人容貌如何不還体格健全血統正しきを望む　姓名在社

當年十九歳教育あり事務員に雇はれたし年二十三体類を德品行方正中等教育あり職務に熟練あり　姓名在社

中古の自轉車買りたし　姓名在社

十二、三の小僧雇たし　良谷川町日韓洋服店

料理店向　日本建の家屋借り度燈も本町筋へ接近の地を望む　姓名在社

賣家　若草町極新しき韓人家屋五間半、八間、十二間、十四間半各種七地代格安にて賣渡す望の方は來談あれ社員矢島

店員入用　年齢十七八歳より廿四五歳京城本町三丁目文林堂

求妻　年齢十七八歳迄貳名至急雇入たし希望者は來談　京城本町三丁目文林堂

廿二才女容貌稍美体格健血統正相當の方へ緣付たし但多少の負債あり　姓名在社

爭齡十二三才より十五六才迄の休德にして市内に確實なる保證人を有する小僧至急雇入たし　深原支店

借室　旭町附近十間以内にて清潔なる二階借受たし　英めほる

年廿二才中等教育有商業の經驗も有會社又は通勤商店員に雇はれたし　姓名在社

十七才個舍娘高女二年修業体健血正二十台の方へ嫁きたし　氏名在社

午後四時より九時迄の間にて韓語練習に雇はれたし　氏名在社

求妻　年三十八三才の男兒有月收一五〇圓年齢容貌不選組當の後妻を求む　氏名在社

當年十七才市内に確固たる保證人有り銀行會社役所等に雇はれたし但し給仕小使にても宜しく候　氏名在社

男女間はす山口縣萩の人に遇ひたし手紙にて本社迄通知を乞ふ　社内ケ一生

貸家　間口二間半二階建長家上六疊二間疊二間半所押入建具付月四十圓　明治町日韓印刷會社

貸家　二階建新築長屋上六疊四疊下六疊二疊臺所押入疊建具付月二十三圓　明治町日韓印刷會社

貸家　二階建長屋上六疊下四疊半に臺所及押入あり疊建具付家賃一ケ月十五圓　明治町日韓印刷會社

貸家　平家建長屋五疊半一間外臺所押入あり疊建具付家賃一ケ月八圓　明治町日韓印刷會社

被雇度　年廿四牛鳥肉鑑切賣販賣店又は割烹店に永年其筋にあり　姓名在社

僕は豐後大分の者なるが來京以來一回も郷里の人に會せし事なし若し當地に大分町の人あらば何人を問はす面會したし　社内阿部

求婚　仁川某會社員廿九歳正無係累收五千体健普通教育ある廿歳前後の女貧富身分不問内助の求妻　姓名在社

十七男高小補習卒業後間勉學し得る給仕小僧に雇れたし　姓名在社

十七八の小僧　給仕に雇はれたし　姓名在社

本店　電話二四八番
京城本町二丁目三丁目
支店　電話三六六番
辻屋

シガレット・ブドウ酒・ブランデイー・洋菓・果子・カン詰類・ジャンピン・ウ井スキー・キリンビール・タンサン水
卸小賣
歌米雜貨
洋酒食料
洋燈草類
金物雜美術品
直輸入商

▲流行の逸品　新柄あり地帯あけ其他種々　取揃へ店頭へ陳列致置候間御散歩御来観被下度候　京城明治町一丁目　徳商店

東京雑報

大陸經營（一）

清人我に良からず

帝國の大陸經營に於て最も注意を拂ふ可きは滿韓共通の植民的施設なり、滿州との聯絡なき韓國經營は帝國對外策の主旨に反す韓國と聯絡なきの滿州經營は半途にして破壞せらるゝ憂あり、滿韓の經營が互に個々分立するは決して永久的の設備と云ふ可らず、滿韓は帝國の大陸經營に於ける車の兩輪なり、之を分離するに於ては大徳に於ける帝國の永久的發展は期すべからず、帝國の大陸經營は素より自衛上の必要に依ると雖も併せて極東平和の保障たるなり、此國是を遂行するには如何なる障碍をも排除して進まざる可らず、滿韓共通の經營は之を遂行するの道なり、之を是はすして徒に鉛半島の統治にのみ齷齪し、滿州一部の經營に惆悵し、大陸經營の大綱を閑却するが如き政治家は到底帝國の使命を托するに足らざるなり、

晩近滿韓經營に對する現狀は如何、帝國政府が對清政策を誤れるの結果滿韓の共通經營に多大の障碍を受るに至れり、清國政府の帝國に對する政策が反抗的に傾くと共に韓帝に聯絡ある問題は總て此者を試み、帝國の經營をして韓半島の領域を踰へざらしめんとする政策を採れるの感なくんばあらず、此政策が果して清國政府の本意なるや否やは知らずと雖も、清國政治家の背後には常に之を慫慂する歐米の策士あることは公然の秘密なり、之等の策士は列國の政府を代表するものに非ざれば、之を以て列國の極東政策と見做すは大早計なれども、外交の事は機微の間に其眞相の閃くことを察せざる可らず、外交の要は、未だ發せざる機微の間に之を制して國是の遂行に資するにあり、列國の極東に對する政策は、今將さに變轉を來たさんとするの徴なき乎、帝國對韓政策の進張、滿韓共通の大陸經營の根柢を確乎不拔になすの急を要せざる乎、之れ政府も國民も共に研究すべき舉國一致の大問題なり

試に清國政府の我に對する政策を瞥見せよ間島問題に付ても最初の態度を一變し、極て強硬なる反抗を為し來れり、而して晩近我態度の軟弱なるを見るや、今は殆ど傍若無人の擧動をなせる觀あり、恰も自國の領地と確定せるが如く、電線を架し、大道路開鑿に着手し、四箇聯隊の兵を派遣するが爲に兵營の建築に着手せりと聞く、何たる大膽なる態度ぞや、聞く清國官憲は我南滿鐵道會社の經營に對しても極力障害を加るの傾きありて、事毎に物議を醸し煩に堪へざる爲に南滿鐵道を買却するとの說もあり、亦鴨綠江の森林問題は解決したれども最初に於ける帝國の企圖とは雲泥の差あり如斯にして前途尚は清國政府の政策が變ずることなく、將た帝國現時の譲歩縮政策にして變ずることなくんば次で來るものは帝國の韓國經營に對する壓迫なりと云ふも決して早計の推斷に非ず、滿州經營に對する壓迫は驍て韓國經營の壓迫となるなり、余輩は小村外相と伊集院公使とによりて對清政策の革新を期待すれども、直接滿韓經營の任に當るものにして平生の用意を缺くに於ては機を逸するの憾なからずとせず、要するに滿韓共通經營問題は帝國將來の發展如何に關する大問題なり、舉國一致して之が遂行を計らざる可らざるなり、

民團稅の徴收

民團稅の徴收好成績なりとの報頻りに傳へらる而かも余輩は該報を踏躇す何となれば徴收にして好成績ならんか稅金の剰餘を為すべきなれば、余輩は我民團の事業者が好成績の報告を爲すに代へて前借の事實を否定するを望むや切なり、

李完用内閣

火の無き所に烟無し李完用内閣瓦解の報は屢〻傳へらるるも、今日に至るまで未だ其眞相を詳にせず、伊藤公と金允植との默契已に出來居るものとすれば金内閣の現出は本年中なるべし、余輩は金内閣が現内閣に比して國民的なるべきを信じ且つ望む

●對星樓茶話

△漢城政府が最近に於て各種の攻擊者により包圍せられつゝあるの狀況は漸次現内閣に取りて關心すべき事件と相成可く候、本年五月より六七月の交まで時勢緩和の爲めに慣用せられたる元老會合が餘り同一の方面で、同一の手段で、同一の狂言で、同一の脚本なりし故、如何に物欲しそうなる舊政權者も勢力に窘れたる元老も稍嫌氣を相さし候由特に時勢の回轉者と目せられたる金允植氏の日本土産が淡泊なりし爲め格別新しき土産なかりし爲め、前日の不平を固屬に重ねて李内閣の攻擊軍を編成しつゝあること頗る警戒すべき趨向と可申候、斯く申せは攻擊軍の勢力を援助致度ものゝ如き推想するものも可有之候へども、そは邪推也、誤解也、只だ天下の策略乃公一人なりと自任せる李總理や、天下の手腕乃公一人也と高にかけ居る宋内相が共力一致して不相變日韓の「大軌道」となられ度深く祈候

△韓人の立てたる頌德碑や、外國の恩誼を歌へる紀念碑は、韓人の眼中よりせば皆一個の公文也、外交文書也。

△韓帝先王の廟に拜せんが爲めに近日畿南を巡幸せらると承はる、秋色已肥、農事正熟、此時巡幸の擧あり、聊か生民の爲めに可祝盛典と可謂哉。

東京電報

▲韓國委員

韓國東拓委員の一行は本日機須賀軍港を見る

▲祭祠令發布

皇室祭祠令發布せらる祭日は大小に分ち大祭日は從來より增加し天長節は小祭に加へらる

▲伊藤統監の參内

伊藤統監は今朝參内し長時間伏奏御下問に奉答し次で皇后陛下に拜謁したり（十九日發）

雜報

●先帝御眞影移安

水原に奉安しある先帝即ち大皇帝の御眞影は今回同地より京城に移安することゝなり昨日御迎の爲め掌禮院より典祀等出張し本日曾京の筈にて各大官等南大門停車場に出迎ふ筈なりと

●黒井次官の用件

過日荒井度支部次官が上京したるは第一銀行發行兌換券に課稅の件と韓國政府より東洋拓殖會社に提供すべき鐵道土地に關する件に就ての用務を辦ずるなりと云ふ

●出版法の發布

韓國政府は近々出版法を發布し韓國に於ける圖書の出版及び外國より輸入販賣する圖書の取締をなす方針にて此れが法案は目下内部警務局に於て起草中なりと云ふ

●預備金支出額

内閣會議の決議に依り上奏裁可を得て支出されたる豫備金額は左の如し

金八千八百九十二圓　問島派出員諸費
金千百八十八圓四十錢　任用旅費
金七百圓　功勞賞與
金千五百五十錢　追拂諸經費
金六万七千圓　漢城衛生會除穢事業補助
金五千八百三十八圓　暴徒捕縛費
金一萬三千九百七十圓　特設巡査隊費
金二萬千四十圓
東洋拓殖會社設立委員旅費

●特許と仁川外商

韓國特許條例中商標許可に關して在仁外商等は非常の恐慌を來し再三集會を催して前後策を講ずる處ありたるは既報せし如くなるが其後世昌洋行に於ては過日自已の所有する各種の商標を器へ特許局に就て之と同一若くは類似の商標特許の出願あるか若しやにつき照會したるに對し昨日特許局より照會に依る件は目下調査中に屬するも添付の商標と同一若くは類似の商標出願ある旨を之れが爲めに世人を煩する恐れあるものなりとの意味の回答を爲せりと依つて外商等は昨日再ひ集會を催し最後の決議をなし相當防衛手段に出る豫定なるも右回答により一先集會を見合せ今後の統監府の行動に關し監視を怠らざるべしとなりたりと

●渡船場許可に就て

韓國各地の巨川大河は未だ橋梁の架設完からず何れも不完全なる渡船によりて交通せるが其の設備の完からざるため貨物の運送旅客の不便は誠に甚しきものあるを以て近日本人にして右の渡船營業を開始し完全なる設備を以て交通の便を開かんと願出るもの多き由なるが此れに關し當局者の意は未だ明かならず

●第三回梁起鐸公判（續）

（甲）此の二萬餘圓は或種の人より毎日申報社に送りたる金なり

（問）國債報償の義捐金なるか

（答）然り

（問）總合所に關係なき金か

（答）此の金は廣告したるものに含まず然れども六万餘圓の一部なり

（問）先刻の申立に相違する如し如何

（答）先刻裁判長に答へたるに相違なし全く義捐會の一部なれども總合所に關係なきのみ

（問）五千圓を引出したる殘りは如何

（答）五千圓が總合所の金にて二萬二千五百圓が社に於て直接に集めたるものなるか

（問）其の通り

上海香港銀行より預金三万圓の内二万五千圓を引出したる殘りは如何

（答）マーチンに貸與したる五千圓なり

（問）夫れより檢事の問に對し二万二千五百圓は一年前數回に貸與したる事實は此の事に關係なき事利子は年九歩の契約にて其の利廻りは年に相違する如し如何

（答）先刻の申立に相違なし全く義捐會の一部なれども總合所に關係なきのみ

（問）五千圓が總合所の金にて二萬二千五百圓が社に於て直接に集めたるものなるか

（答

明治四十一年九月十日　京城新聞　第六十七號（日曜日）

京城居留民團公文

京城居留民團告示第二十九號

明治四十一年度京城居留民團歲出更正豫算左記の通理事官ノ認可ヲ得タリ

明治四十一年九月十九日　京城居留民團民長　熊谷賴太郎

歲出更正豫算

歲入　經常部

第七款　衛生費

第一項　掃除費　既定豫算金參千八百四十圓

第一目　傳染病費　更正豫算金參千參百五十七圓五十錢

第二目　雜給　既定豫算金壹萬七千四十五圓五十錢　更正豫算金九千參百七十壹圓貳拾錢

第三目　筋肉費　既定豫算金參百八十圓　更正豫算金貳百參十四圓五十五錢

第四目　修繕費　既定豫算金五百圓　更正豫算金參百圓

第五目　拂除費　既定豫算金零　更正豫算金八千七百九十參圓十五錢

●天下一品　お辰の明鳥

▲某々の記者を泣かしむ

南山町は昔に名高き料亭花月にて年増藝妓のお辰といへば三筋の業は申すに及ばず客の取りなし坐敷のヒナしは何うして却々達者なもの世辭や丸めて浮氣でコヲて小町樣の眺めの鮮やかさは其の老練なる手腕と相俟つて又却々に萬の客の御意に叶ひつゝあり取り分け此の老妓の十八番とする所はしめり勝なる音色も妙に撃も皐月の曇り氣の憂き悲しくぞ聞かぬる新内なるが其の新内の中に付ても殊に『明鳥』が得意にて殆んど天下一品ともいふべきの値ありつゝとか、さるにても過ぐる日のこと同樣に於てさる集會の催されしみぎりお辰は席に侍べりしが何に緩席に居並ぶ面々は何れも憂世慨國とやらの武骨者殊に縱論橫議を職とせる新聞記者の多數を占め居ること〻て二三人の粹人の外諧よものも舞ふものもなく一坐は轉た殺風景の氣味なりしが頓て客の中の一人がお辰の明鳥の堪能なるを知り居て是非にと一曲を語るべくお辰を慫きければお辰はハイと答へて傍なる太棹を取り上ぐるや音締めしらべも何うやら床しく頓て本調子に入りけるが其の婉曲にしてしなやかなる節まはしは切々たる三味の音色に和して一坐の客をして轉た其の情に堪へざらしむるものありたり次で曲は進んで蛇れ杉が浦里を折檻するの場に至るや浦里はタトヒ如何なる折檻に逢ひしとて斯うと互の情を許せし時次郎さんとの二人の間は現世はれろか二世三世迄も變ぬぞやと自己の堅き決心を示してお杉の言葉を斥けソレより樓主の意見となり親方さんのお情けは骨身にこたゆて辭うムいますが此れ許りかは……

●蠶島の銃聲

草刈男の負傷

十七日午後一時頃のこと東門外蠶島貳契六統五戶居住徐福東(三十)が同地を距る東方約十丁餘の野にて馬草を刈りつゝありしが何所よりともなく一發の銃聲と共に銃丸飛び來りて福東に命中したりたれば其儘倒れて氣絕したり此時一人の憲兵は不時の銃聲を聞き附けて馳付け見れば一人の韓人倒れ居るに老大に驚き憲兵は加害者やあると四邊に見れば遠かに黑衣を着したる日本人とも韓人とも分らぬ者京城方面に向ひ疾走しつゝあるを認めたる外何等の手掛りもなければ必定彼の所爲なるべしと追跡したるも隔り居りたると負傷者を捨て置きたるとにて己を得ず追跡を止めて負傷者に手當を施し直ちに漢城病院に護送し治療を加へしめたるが傷は左胸部及左耳上にて輕傷なりと云へば遠からず全快すべしとのことなるが加害者は不明なり

●四十男の妄狂ひ(三)

去るものは日に疎しとやらの壁へれ高の色香と心根にゾッコン惚れ込みたる川瀨は今は臺灣の妻子の身の上のことなどは夢さら念頭に掛けざるのみか行く〻はれ高を本妻に直さんとの下心の所へ圖らずも此の意十五圓を踏倒し此金を以て何處へか駐落せんとの魂膽なりしなるべし

●之れも前借踏倒し　福岡縣京都郡伊良原村中村ナヲ(三)は十日程前其情人なる龍山の或疊屋の職人某と相識の上青葉町山陽亭事長尼利吉方に前借一五圓にて酌婦に住み込みたるが根が山陽亭に勤むる氣でなく只だ十五圓の金を情夫に貢ぐ爲に本公したるとして三日前の午後五時頃風呂に行くと等分に見較べ居りしが男も此の場の不首尾に何の發すべき言葉もなく首俛れて暫時默然と思案に暮れ居りし樣子本妻の方も亦二人の子供を前に坐らせし儘唯口惜しき一念の時々はソッと濕枠の袖で涙に曇りし眼を拭ふのみなりしが頓て靜に更け行く秋の夜のいつしか十二時を打ちたれば高は坐を起ちて別室にた春親子の清團を延べ兎も角も夜も更けたれば委細の噂は明日級と其の夜はソレにて一同臥戶にとは就きたり

チラも臥戶に就きたる三人の胸の中は言ふ迄もなく想像に餘りあれど分けて春は子迄抱きし女の身の亦一しほに憂き悲しさの情胸に溢れスリ泣きの音さへ頑是なき二人の子には聞かれまじと堪り無念の胸を耐

改良會席料理　東雲樓

本町八丁目

轉宅

大和町三丁目　新町通新道側　小川靖雄

●メソジスト教會の講演　旭町二丁目名古屋城內日本メソジスト教會にては本日左の講演あり蠶繭は隨意なり

午前十時「永久の生命」醫學博士神學博士スクラントン氏、文學博士飯島榮太郎氏

通譯午後七時半「道義に關する信者の態度」山下篤氏說教

●日曜講演　日の出町京城基督教會にては本日午前九時より日曜學校同十時より禮拜繼居加一氏の聖書講義あり參觀隨意

●西本願寺の說教　長谷川町の西本願寺出張所に於ては本日午前八時より日本人に對する鎌田覺教使の說教あり

●彼岸會說教　南山本願寺に於て今日より來る二十六日迄例年の通り七日間彼岸會說教あり

●日曜奏樂　本日午後六時より例の通り倭城台公園に於て陸軍樂隊の演奏あり曲目左の如し

日本國歌行進曲　エッケルト作
序樂　マリタナ
長唄　隈取安宅の松　フラース作
日本俗謠集第一號（ツルス青盤）　軍樂隊作
同　アルギー作

廣告

龜屋の部は
西洋酒食料品
電話八二一七番

長崎流
しるこ
茶碗むし
京城南山町二丁目
（南山湯上隣）
松枝の

○土耳古金口煙草GD　京城代理店　歐米雜貨商　京城本町六丁目
インペリアル　茶褐色　スポルト　各種
㊟岡野商店　電話(五七一番)

開店六週年紀念　景品附大賣出し

拜呈弊店儀今回開店六週年大賣出仕り候に付ては左の標準により景品呈上仕候尤も此際御調製仕る靴は弊店獨特の技能を以て堅牢無比高尚優美に製作可仕候就ては足數に限り御座候得ば至急御申込被下度候尚御一報次第遠近に不拘店員罷出御用命相承り可申候但し賣出靴足數は一百足を限とし定數滿了ご同時に締切可申候

景品	格左に	
一等	價格金五拾圓	三越吳服券
二等	價格金參拾圓	亀屋商品券
三等	價格金貳拾圓	辻屋商品券
四等	價格金十圓	四ヶ所商店商品券
五等	價格金十圓	末永吳服券
六等	價格金十圓	星支店商品券
七等	價格金十圓	丸京吳服券
八等	價格金五圓	商品券
九等	價格金十圓	商品券
十等	價格金五圓	梅垣雜貨店商品券
十一等	價格金五圓	商品券

一十一等より貳百等まで壹本も空籤なし

抽籤は來る十一月三日天長節を卜し各新聞社員立會の上午前より弊店に於てて執行す

四十一年九月

京城本町貳丁目　萩原靴商店　電話壹千三百一八

今般業務擴張ノ程奉希候　相變御引立ノ程奉希候　打弓　京城大和町一丁目（軍司令部通）

綿製造販賣　天下無比品

●移轉廣告

●醉漢と自轉車乘　四時寂として只だ牝を追ふ犬の聲のみ聞ふる昨日の午前一時頃明治町二丁目九番戶雜貨商岡山縣平民小島榮次郎(二)は何處で聞召したか酒に醉つ獅つて鳥歌唄ひながらアチラに蹣跚コチラに蹣跚し乎鳴り千鳥の足取面白く御覽通りを行つて來り自轉車に打跨り現はれ出でたるにぞ醉つ自轉車乘りと思ひ吃驚し彿ひの榮公幽靈の自轉車乘り勝玉を何處へか飛んで行きたるか思はれたが流石は日本男子醉眼を見張つて其正体をよく見れば幽靈と見しは韓人なりしかばエーイ何だ貴樣は韓人の癖に自轉車などに乘り此貴樣中に人を吃驚させやがつたと生意氣な奴だベラボーめと言つて見たれど朴は仲々以て癖たれず口に任せて言捲るに榮公も之に叶はず遂に警察署に同行することとなり銅覽分署に送れながらと出たるに却て兩人とも散々の目玉を頂きて恐れ入り引下りたりとのこと

●賭博中に戶口調べ　一昨日午後一時半頃西部警察署の巡査が南大門內太平洞李福萬(三十)方に戶口調査に至りしに家內にては何か大混雜をなし居るよりの巡査が之を認ゝ取調べのする溫突に突進したるに金一圓位と花札

●郭山の降雹　平安北道郭山邑附近者へ對し四百餘通の招待狀を發せりと

●水道引込希望者　水道會社の經營になる水道は既に竣成したるも引込價格非常に高き爲め希望者の方にては躊躇し居れり他分引込希望者少かるべしと

●基督教幻燈會　一昨日午後七時半より旭町四丁目五十八銀行橫丁(元みくにや跡)日本基督教會に於て幻燈會を開き基督傳及歐米風景等を映寫し一般の觀覽に供したるが頗る壯況なりし

●秋季運動會　京城民團にては來る二十七日各學校の聯合運動會を練武院にて

●水道引込希望者　水道會社の經營になる水道は既に竣成したるも引込價格非常に高き爲め希望者の方にては躊躇し居れり他分引込希望者少かるべしと

●基督教幻燈會　一昨日午後七時半より旭町四丁目五十八銀行橫丁(元みくにや跡)日本基督教會に於て幻燈會を開き基督傳及歐米風景等を映寫し一般の觀覽に供したるが頗る壯況なりし

轉宅

大和町三丁目　新町通新道側　小川靖雄

會社韓國支社と金壹千圓の保險契約致居候處今回金額受領

東洋生命保險株式會社

亡忠七儀

明治四十一年九月　受取人　植村喜代太

來る廿六日本縣人秋期懇親會相催

正午南山公園に於て熊候に付萬隆御繰合御出席相成度候也

但會費七十錢當日御持參の事

發起人（いろは順）

市原　堀川　林田茂七郎　服部　蔵宏
大村　横田　富田六藏　小川靖雄
保定　小川末五郎　竹內　武田大橋
雄　中島　東南生人　錦田　善蔵　卓爾　永田幸太郎　七村　工藤武城　正巳　熊谷　佐々正之　三浦茂三郎　菊地　謙蔵　白木爲次郎　深水　三浦三作　清直亮

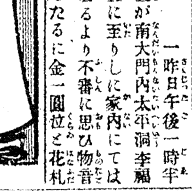
追て準備の都合有之可成廿五日迄に發起人又は京城日報社、京城新聞社へ御出席の旨御一報願上候

長崎流

しるこ
茶碗むし
京城南山町二丁目
（南山湯上隣）
松枝の

明治法學士
訴訟代理人
小川勝平
京城本町一丁目
（電話四番）
事務所
大島東外門

◎胃病は萬病の本なり
（獨國醫學博士ボナース氏の新胃）
胃活錠
胃活を加減して新藥を加へたる新式の錠劑也試よ
理想的
胃活錠
健胃劑
定價（胃活錠）一圓、五十錢、廿錢（胃活）一圓、六十五錢、四十五錢、廿五錢、十錢
本舗東京銀座一丁目山田安民藥房
大阪南久寶寺町貳丁目山田安民藥房
有名藥店にあり



講談

西山茶話（二）

衣川

桃川燕光

水戸街道を「エヽ下に――」といふ側し聲、往來の人はさうとは知らないから、皆なれ解儀をし、下座をして居る、通り過ぎた後で、○「モシ〳〵、今れ通りになつたに長持は何が這入つて居るので、△「ヘエ、那ア芋が入つて居るのださうで、○「何ですと芋が入つて居る、何のこつた」と中には溢して居る者がある。盆々江戸表へ着いたしますと、中納言殿れ喜こび遊ばして、早速一同の者へ仰せ渡しになり「父上れ手作りのれ芋、明日一同の者に拝見を許すこと」見に罷り出るやう」にと御沙汰があつた。扨翌日になりますと、翌斗目麻上下を着し面々登城をいたしまする」甲「金太夫殿、今日はれ能拝見でござるか」金「いやれ芋拝見で……」れ能拝見と間違へて居る。ソコで其の處へれ差出しになりましたのは、蒸してあると日ねて畑が出て居りまする衣被、其れを中納言が先に召上つて、跡で一同へ拝領といふ事になる。家老が二ツ、中老が二ツ、中には一ツ、又は半分、四半分、其から終ひに段々下つてやる物がないと、衣被の皮に毛なぞを下さる。そんな物を貰つて何になるものか、是も矢張り西山公のれ傷を數へましたものと見ねます。或日西山の御隠宅を訪づれましたのが松害庵元起と申しまする者、御隠宅へ留めまして四方山の話しをすると、此の元起といふものが、頗ふる博學でございまして、何の話しをしてもドシと差支へない。理はりなるかな、是が松平越後守光長公の元御家老、越後板田の城で一萬三千石、山田大膳の伜左膳といひ、越後獅双の大忠臣、天和の元年六月二十一日、越後の家がれ取潰しになり、之を水戸の黄門様のれ袖に縋つて主家を再興しやうといふので元起と名を改へ此處へ參りましたので、話しが合ふから暫らく御草庵へ留まつて、日々れ伽をいたして居ります、時に元起が元「奥州出羽は名所古跡が澤山ございます。私がれ供をいたしますが御見物にれ出で遊ばしては如何でございます」といふと御隠居も別に用もなし、諸國の人情風俗を見るのも又た興あることゝ、綱條公へ申上げソコで、常陸の西山を御發足といふ事になりました。鼠木綿のれ召し白の手甲脚半、丸括の帶頭陀袋を首に掛け正宗の耳鑿一本帶挟んで、黎の杖を突き、儒者といふ風込みでございまして、名前を水鐵といひ、其の供元起は講談師、宜い道連でございます。那れから奥州へ乗込んでれ出で遊ばす。此の邊は中々名所古跡が、見るところも多い、廻り廻つて奥州の衣川といふ處へれ掛りになつた。

東京浅草観世音名物紅梅焼　高等衛生茶用煎餅　あまから鹽煎餅　御進物用に適し腐敗の憂なし　梅林堂　京城南山町二丁目天眞樓前

新築落成御披露

龍山太陽館本店（電話十六番）

秋冷之候大方各位益々御清榮之條奉大賀候弊館儀從來旭橋際にて營業罷在候處今般龍山驛前に新築中の處既に仕上り相整ひ過日移轉致し從前之通り旅宿業營み且階上大廣間は宴席の備も相成申候間何卒倍舊御引立之程奉願上候

○龍山驛前にして諸官衙へ最も近く御便利也
○眺望絶佳にして客室多數設備完全仕候
○宴會席用として階上大廣間は五十疊敷也
○娯樂用として玉突臺は目下据付中也
○構内人力車は本館の取扱ひに付き御心置きなく御用命被下度候

移轉開業

龍山停車場構内

御下宿　古河屋

京城大和町一丁目
軍司令部通韓洋亭前

眺望宜敷二階アリ確實ト叮嚀ト勉强ハ本店ノ特色ニ御座候

諸官衙用御品調達

營業目科

紙類書籍
印刷附屬品
印刷インキ
防腐デシン
穀物食鹽
織物染料

各學校用品調達

委託販賣

アライアンス商會代理店（東京合資會社）
千代田生命保險相互會社代理店（東京）
博文館發行書籍特約店（東京）
金港堂發行書籍特約店（東京）
臺鹽合資會社食鹽特約店（東京）

藤田合名會社

本社　京城明治町二丁目（電話二三〇番）
出張所　東京橫濱百七番　東京ビユームエンドライフ商會代理店
東京橋區南鍋町一丁目（電話新橋三九六二）

株式會社第一銀行

電話番號
第一三三番　國庫部、發行部、營業課、當直用
第三三一番　國庫部、發行部、營業課用
第六一二番　支配人、調査部、文書課用
第三三二番　用度係、分析所用
臨時建築部用

米國紐育
ボーデンス煉乳會社
韓國總代理店を引受け候間此際特に御注文被下度益々御引立の程相願候
ウイトコスキ商會
大日本橫濱市山下町九十三番

懷中要薬

清心丹は旅行携帯藥として缺く可からざる良藥にして滋車流船の忽ち効を奏すること妙
清心丹は高尚なる香氣を含み口熱惡臭を消ひ快よくすること妙ならしむる特効藥を以て發賣茶其他藥理の必携物なり
清心丹は遠足之際口に含みて走るときは息切することなし
清心丹は風土變り水あたり等の恐れあるときは時々二三粒づゝ用ゆれば其患ひなからしむ
清心丹は過酒過食之停滯を解し消化を良好ならしむること妙
清心丹は暑さ寒さあたりにて下痢腹には三十粒乃至四十粒を噛み碎き四回用ゆれば必ず奇効あり
清心丹は傳染病流行地に於ては常に二三粒噛み碎ひて大に豫防す
清心丹は人魚の商標と高木興兵衛の名儀へ御注意之上御求めを乞ふ
清心丹は定價金一圓（箱入）二錢五錢（箱入）十錢（箱入）卅錢十五錢（箱入）十錢（紙包）の八種あり
清心丹は製造本舗東京市日本橋區元大坂町八番地にして取次は全國到る所の有名藥店にて販賣す

代理店
新井藥房支店（電話番號一六八七）
新井藥房店（電話番號四一七）

貯蓄預金
長崎貯蓄銀行代理店（十八銀行京城支店）
利息日歩壹錢四厘
一口壹錢以上何程にても御預り申候

韓國
日本
京城龍山
仁川本浦
釜山元山
群山
鎮南浦
平壤
新義州
佐世保
大阪
熊本
長崎
本支店出張所
其他日本、韓國樞要地、及露領浦鹽に爲替取引先あり

株式會社十八銀行
京城支店
（電話四二〇）
京城南大門通
資本金參百萬圓
拾萬圓

直輸入外國貨御披露
トルコ紙卷
エジプト紙卷
ハバナ葉卷
マニラ葉卷
其他パイプ、ケース、等附屬品一切右期新純良品特別廉價販賣仕候間續々御用向ノ程奉希上候
京城本町一丁目
トルコ煙草日希商會
D.C.MENELASCO.

銀行一般業務精々御便利に取扱可申候
資本金參百萬圓
京城南大門外右市町
熊野商會支店
電話壹八貳番

入院隨意
京城壽町三丁目（元阪井病院内）
高井醫院（電話二一六）
院長　陸軍三等軍醫正　高井貞治

板材木商

開業廣告
眼科梅毒
專門海洋醫館
本月ヨリ開業
京城旭町二丁目名右尾城上
眼科梅毒
患者ノ診療ニ從事ス
（ルプは各地到る處の藥店に取次販賣す）
（馬プに限るくだり腹とめはのめばすぐ止る）

大韓國大審院御編纂
日韓對照
新法律
刑法　民刑訴訟法　民刑訴訟規則
裁判所構成法
民事訴訟期限規則
全壹冊美本
紙數凡四百頁
上製（總クロース全文字入）定價金壹圓並製定價金八拾五錢

◉豫約方法
一、豫約者ハ上製並製共各壹冊ニ付キ定價ノ一割減
一、拾部以上取纏メ豫約申込ノ者ハ左ノ割合ニテ貴需ニ應ズ
上製壹冊ニ付キ金九十錢　並製壹冊ニ付キ金七十六錢五厘
一、豫約申込期限　明治四十二年五月限リ
一、豫約申込ト同時ニ上製一冊ニ付金五十錢並製一冊ニ付金四十錢ノ割ヲ以テ御拂込被下度殘額ハ現品引換申受候
一、出來期　十月五日
一、豫約申込所　明治町三丁目日韓印刷株式會社

今ヤ大韓國ハ大日本國政府ノ懇切誠實ナル保護ノ下ニ百事改善ノ緒ニ就キ其ノ發展ノ著シキ大ニ中外ノ稱讃ヲ博シツヽアルガ既ニ法律ノ改定ハ着々完成ノ域ニ進ミ而シテ是レガ速用ノ衝ニ當ル各裁判所ハ本年度ヲ以テ開廳セラレタリ固ヨリ制定ノ法文ハ其ノ都度官報ヲ以テ公示セラルヽモ本法ノ如キ廣汎數千條ニ亘ルモノヽ一部ノ書籍トシテ顧リタル者ナク當事者ノ常ニ遺憾トスル所ナリシガ我大韓大審院ハ早ク茲ニ鑒ミ最精確ナル校正ヲ經テ此書ヲ編纂セラレ更ニ之ヲ弊社ニ命ジテ廣ク官民公衆ノ便ヲ計ラシメントス於是乎弊社ハ責任ヲ以テ之レヲ印刷ニ付シ豫約ニ依ツテ一般ノ希望者ニ頒チ一ハ以テ大審院ノ厚旨ニ答ヘ一ハ以テ法界ノ公益ヲ博セント欲スル切ニ望ムラクハ江湖ノ諸彦此意ヲ諒トシ續々御申込アランコヲ

發賣所　京城明治町三丁目　日韓印刷株式會社
賣捌所　京城本町二丁目　日韓書房

水道良水
毎日午後二時より開湯
專用壽湯
壽町一丁目

開業紀念大賣出し二割引
今回開店紀念チ機トシ業務擴張ノ爲メ向フ一ケ月間特別定價ノ二割引トシ大賣出シ仕リ候間陸續御來店御買上ノ榮ヲ賜リ度奉願候
京城本町五丁目
石川時計舗
信用
責任

水道良水
專用日の出湯
京城旭町一丁目
電話七四九八番
今回京城水道通水致候に付本日より弊湯は同水道の良水を用ゆるに付候間入浴料は從前の通に候間相變らず陸續御入浴御引立の程願上候

京城
株式會社第五十八銀行
電話番號五十八
資本金三百萬圓
爲替取先組
京城
大阪
京都
西陣
見附
堺
奈良
郡山
八木
高田
田原本
貝住
平野
吉野
影
吳服
神戸
住吉
堺
和田
御
東京都
東京
橫濱
千葉
大磯
甲府
鎌倉
靜岡
沼津
清水
松本
名古屋
宇田
熱田
名古屋
四日市
津
山田
桑名
松阪
東海道
東山道
北陸道
山陰道
山陽道
南海道
西海道
大津
長濱
大垣
岐阜
多治見
前橋
伊勢崎
宇都宮
福島
若松
仙台
青森
秋田
七日市
能代
小濱
福井
敦賀
鯖江
金澤
大聖寺
高岡
富山
伏木
新湊
魚津
宮津
舞鶴
新舞鶴
敦賀
島取
米子
浜田
松江
濱田
久手
大田
宇部
山口
萩
明石
赤穗
姫路
西大寺
岡山
福山
尾道
三原
呉
宇品
廣島
岩國
中宮布
三田尻
德山
小郡
山口
柳井本津
平生
長府
小月
下關
萩
岡山
田邊
新宮
和歌山
尾の
南海道
申
御坊
廣
州本
塩養
鐵島
善通寺
丸亀
高松
八幡濱
川之石
宇和島
今治
中
西條
松山
三津濱
高知
直方
飯塚
博多
福岡
若松
久
米
若津
中津
小倉
門司
行橋
後藤寺
佐伯
別府
長崎
大分
湊島
原
佐世保
唐津
伊萬里
牛津
呼子
鹿兒島
北海道
函館
小樽
札幌
臺北
臺南
仁川
釜山
元山
鎮南浦
平壤
木浦
羅州
大邱
群山
安東縣
台灣
南韓國
銀行一般の業務精々便利に取扱可申候

種洋純良牛乳
取次販賣
電話七三番
京城南大門外
井上牧場
電話十番

日本郵船株式會社
仁川出帆廣告
仁川海岸通
郡回漕店
電話三〇六番
京城南大門通
巴商會
電話三九番
●釜山長崎門司神戸行
山東丸　九月廿七日　後三時出
●大連、大沽、牛莊行
高砂丸　十月一日　後一時出
山東丸　十月十三日　前五時出
●大連、大沽、牛莊行
酒田丸　十月十五日　後一時出
●釜山出帆、元山清津、浦鹽行
立神丸　九月三十日
●釜山出帆、元山清津、浦鹽行
神丸　十月十日
御乗船ノ際ハ税關波止場ヨリ可申候送迎船ハ本船出帆ノ約五十分前ニ船解纜ノ事
注意
●新聞廣告料
●廣告料
●發行所　京城南大門通小門通　電話六六三四番
●發行兼編輯人　秋山忠三郎
●印刷人　京城西部小門通　高木久馬太郎